

＼いっぱいあるけん！／ うわじま子育て応援

宇和島市では、子育て世代から「選ばれるまち」を目指し、安心して子どもを産み、子育てしやすいまちづくりを推進しています！

Pick up!

妊娠・出産時にお祝い金！

■すてっぴギフト

(国の出産・子育て応援給付金)

出産のお祝いと子育て応援として、妊娠時に5万円、出産時に5万円を支給します。

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」
☎49-7110



Pick up!

最大30万円の子育て応援！

■子育て応援給付金

子どもの誕生と、誕生日（満2歳まで）到来ごとに10万円を支給します。

問 こども家庭課子育て給付係 ☎24-1111
内線2147



Point!

令和5年度から拡大！



Pick up!

おむつ購入サポート！

■^{えがお}愛顔っ子応援券

子ども（第2子以降）が誕生した世帯を対象に対象乳児1人につき5万円分の紙おむつ製品購入に利用できる応援券を支給します。

問 こども家庭課子育て給付係 ☎24-1111
内線2147



Point!

10月からは第1子にも拡充！



Pick up!

多子世帯を応援！

■第2子以降の利用料無料

保育料・延長保育料・一時預かり保育料・病児保育料・ファミサポ利用料について、第2子以降は無料です。

問 こども家庭課こども育成係 ☎24-1111
内線2143



Pick up!

必要な育児用品を貸出し！

■育児用品レンタル

一時的に必要なとなった育児用品を貸出し、保護者や祖父母の育児と乳幼児の成長を応援します。

問 こども家庭課こども育成係 ☎24-1111
内線2138



Point!

令和5年中開始に向け準備中！



医療費助成で安心サポート！

■子ども医療費助成

0歳から中学校修了前までの子どもの保険診療による通院や入院の自己負担額を助成します。

問 こども家庭課子育て給付係 ☎24-1111
内線3124



Pick up!

木のぬくもりのプレゼント！



■木のおもちゃ贈呈

誕生お祝い品として、地元産木材を使用した木製玩具を贈呈し木育を推進します。

問 こども家庭課こども育成係 ☎24-1111
内線2138

Point!

令和5年中開始に向け準備中！



Pick up!

親子の絆を深める絵本！



■絵本の贈呈と読み聞かせ事業

8か月の子どもに絵本の贈呈と、親子のスキップのきっかけになる読み聞かせをしています。P8で紹介！

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」
☎49-7110

LINEで応援！



■LINE公式アカウント

宇和島市LINE公式アカウントで、妊娠週数や子どもの月齢に合った子育て支援情報を届けます。P9で紹介！

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」
☎49-7110

スマホアプリで応援！



■子育て応援アプリ

「伊達なうわじま安心ナビ 子育てモード」

妊娠・出産・子育てと切れ目無く、豊富な子育て支援情報を配信しています。P9で紹介！

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」
☎49-7110

地域の力を子育てに！



■ファミリー・サポート・センター

「子どもをちょっと預かってほしい」とき、「子育てに協力したい」という地域の人をサポートを受けることができます。P7で紹介！

問 うわじまファミリー・サポート・センター
☎49-7054

子育て仲間づくり！



■子育て支援センター・子育てサロン

親子が安心して遊べて、同じ子育て世代の人との交流や情報交換できる場がたくさんあります。P28「宇和島名鑑」で紹介！

問 こども家庭課こども育成係 ☎24-1111
内線3123

各支援の詳細や他の子育て支援についてはホームページに掲載しています！



お母さんの心身ケア！



■産後ケア事業

産後のお母さんが安心して子育てをスタートできるように、医療機関への宿泊・日帰り、助産師の自宅訪問による体調や育児相談などの支援を行います。P7で紹介！

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」
☎49-7110



特集 「いっぱいあるけん！ うわじま子育て応援」

宇和島市では、子育て世代を応援するサービスがたくさんあります。宇和島で安心して子育てができるように、子育てに関わり応援してくれる人たちの思いを紹介します。

近年、共働き世帯の増加により、子育て環境は大きく変化しています。子育てをする親の負担軽減や悩み解消、仕事との両立を図ることができるよう、さまざまな取り組みが必要とされています。

また、昨年の全国の出生数は約77万人と過去最少かつ7年連続で低下しています。県でも令和4年中に生まれた子どもの数が初めて8千人を下回り、過去最少となっています。少子化が進むことは、将来の働き手の減少による経済規模の縮小を招くだけでなく、地域社会の担い手も不足することから社会全体の活気の低下をもたらすリスクもあります。

「子ども」は、一人一人が個人として尊重されるべき存在であるとともに、これからの未来を生き、創っていく存在です。いわば、「まちの未来」そのものであるといえます。まち全体で子育てを応援するということは、そのまちの未来を市民みんなで育て創っていくことであり、「うわじまの未来を創る」こととなります。

産後ケア事業

利用者からひと言

2人目の子どもを出産したとき、1人目の子が2歳半でちょうど赤ちゃん返りの時期でした。夫婦ともに実家が遠く、上の子を預ける保育園も実家の近くがないため、里帰りはできませんでした。出産後、退院してすぐに育児と家事をする必要があり、少しでも体を休める時間があったらなと思います、このサービスを利用しました。

出産時と同じ産婦人科を紹介してもらい、利用時には助産師さんから「今日はどんなふうに過ごしたいか」を聞いてもらいました。日帰り型サービスを月2回ペースで利用し、訪問型も含め7回程度利用しました。利用する前は産後で体がしんどかったり、精神的に不安定になることもあり、誰かに話を聞いてもらいたいと思うことがありました。2人目の子どもでも子育てで不安なことはあったので、助産師さんにアドバイスをもらうと気持ちが軽くなり、それを実践し子どもの状態が良くなるとう本当に相談してよかったなと

思いました。また、子どもを預かってもらいゆっくり睡眠をとり休むことができ、産後の体の回復にも役立ちました。

産後で体も心も不安定なのに、子どものためにとお母さんは頑張りすぎてしまっています。このようなサービスがあるのでもっと利用してほしいです。また周りの人でこのサービスを知っていても「利用してもいいのかな」と遠慮する人の話も聞きます。申請手続きは難しくはなく、育児で窓口に行く時間が無くても申請のサポートをしてもらえます。まずは気軽に相談してみたいです。きっと同じように悩むお母さんの手助けになると思います。

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」49-

7110

49-



ファミリー・サポート・センター

サポート会員の思いを紹介

上田文さん



もともと子どもに関わる仕事に興味があり、県外にいる自分の娘や孫に会う機会が限られていたため、娘と同じように子育てのサポートを必要とする人の力になりたいと思い、サポート会員に登録しました。

孫と同じぐらいの年齢の子どものサポートに入ることが多く、自分の孫と遊ぶような感覚で一緒になって風船遊びなど体を動かして楽しんでいきます。体が動くくと自然と顔がほころび、笑顔が出ます。

子どもと1対1で手厚くサポートができ、子どもものびのび遊ぶことができますので、安心して利用してほしいと思います。お母さんなどが本当に必要などときだけ柔軟に子どもを預か

ることができるところが一時保育とは違い、メリットでもあります。

またサポート会員に興味がある人は、一度相談だけでもしてほしいと思います。サポート会員の輪に入ってみると、とても居心地が良いです。ぜひたくさんの方に参加してもらい、一緒に子育てを楽しんでほしいと思います。

問 うわじまファミリー・サポート・センター

49-7054

49-7054



絵本の贈呈と読み聞かせ事業

市では、親子が絵本を通じて心ふれあう温かい時間をもってもらうことを願い、8か月児健康相談の際に絵本の読み聞かせと贈呈を実施しています。絵本3冊の中から親子が選んだ1冊を地域のボランティアが読み聞かせしてお渡ししています。絵本をただ渡すだけにしていないのは、読み聞かせをすることで絵本に親しみをもってもらい、家庭での親子のスキップの1つとして絵本が活躍してほしいという思いからです。絵本は、子どもの感性を豊かにしたり、親子の絆を深めたり、さまざまな効果が期待されます。また、子どもと向き合うそうしたひとときは、大人にとっても心安らぐ優しい子育ての時間となります。

☎ 保険健康課マザーズステーション「すてっぴ」

☎ 49-7110



親子で選んだ本とブックトートをお渡しします



夢中になって絵本を見つめているようです

読み聞かせボランティアの声

読み聞かせグループ

サポーター 夢のたまご

代表 廣瀬 孝子さん



もともと本が好きで本の読み聞かせ活動ができないかと周りに声をかけ、本や子どもが好きの人が集まって読み聞かせグループ サポーター隊「夢のたまご」という団体をつくり活動しています。地域や学校などが実施する「健康づくり」や「食育活動」のための取り組み・活動に人材を派遣する「元気うわじまサポーターバンク」にも登録し、食育という観点から保育園で食に関する絵本を読んだりもしています。

読み聞かせをしています

子どもがにこにこ喜んでくれたり、絵本に一所懸命手を伸ばして興味を示してくれることをうれしく思います。本に集中したり笑ったりする子どもの表情はとてもすてきです。

家庭で本を読むときは、子どもが自分から持つてくる本でも良いですが、小さいうちはお母さんお父さんが好きな絵本を読んであげるのも良いと思います。その方がお母さんお父さん自身も楽しく読めて、感情も込めやすいです。絵本を読むことが決して義務や負担にならないように、無理なく親も一緒になって楽しむことが大事です。1冊でも良いので親子で一緒に絵本を楽しむという同じ時間を共有すること、そういう幸せな時間を持つてもらえたらうれしいです。



LINEで出産・子育てを応援します！

これまで、市の広報やアプリでお知らせしていた子育て支援に関する情報を、必要なタイミングに直接、LINEでお知らせするサービスを6月より開始しました。利用するには市LINE公式アカウントで、出産予定日や子どもの生年月日の受信設定してください。

設定後は、妊娠8週から出産、子どもが5歳になるまでの間、妊娠週数や子どもの年齢・月齢にあわせてタイムリーに子育て支援情報が通知されます。

利用者の声



- ・ウェブよりも簡単に健診の日程などを事前に知ることができ助かります。
- ・妊娠週数に応じての細やかなアドバイスもうれしいです。



市LINE公式アカウントの下部メニューの「子育て（お知らせ登録）」から登録をしてください。

問 保険健康課マザーズステーション「すてっぷ」 ☎49-7110

伊達なうわじま安心ナビ 子育てモード



市公式アプリ「伊達なうわじま安心ナビ」は、宇和島の魅力や生活に便利な情報、緊急時の支援情報などを、タイムリーに提供するためのアプリです。妊娠・出産・子育てと切れ目なく子育て家庭をサポートするため、「子育てモード」が追加されています。

これまで紹介してきた妊娠・出産・子育て期における支援・各種制度、保健サービスの他にも遊び場、保育園や幼稚園、緊急時の対応方法や相談先など子育てに関する情報を幅広く紹介しています。また、プッシュ通知の設定をすれば、リアルタイムで子育てに関するお知らせやイベント情報を受け取ることができます。

子育て中の人もこれから子育てをする人も、宇和島で楽しく安心して子育てができるようぜひ活用してください。

子育て応援ブック
もあります！



問 保険健康課マザーズステーション「すてっぷ」 ☎49-7110

